

YOKOHAMA ORIGIN **横浜が発祥の地** vol.23

インドからやってきたヒマラヤスギ

日本で初めてヒマラヤスギが植えられたのは明治12(1879)年ごろ。日本で最初の外国新聞社、ジャパン・ヘラルド社のイギリス人ヘンリー・ブルックが、インドのカルカタからヒマラヤスギの種子を輸入し、山手居留地一帯に植えたという。その苗木は皇居に献上されたり、新宿御苑に買い取られるなど、全国各地に広がっていった。

日本初の西洋式公園である山手公園にもテニスコートを囲むように種が植えられ、大正から昭和の初め頃には、横浜のあちこちで横に張り出した大きな枝が風に揺れていた。しかし昭和40(1965)年頃から、大きすぎるとい理由で伐採が進んでしまう。山手公園のヒマラヤスギもその影響を受けて枝を落とされる、台風などの影響で倒れるなどの被害を受け、現在では直径1メートル



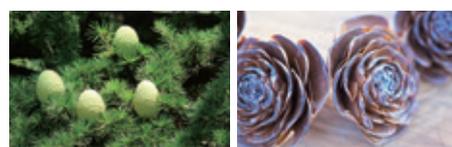
1912年「横浜貿易新報」の記事

を超える大木は数十本しか残っていない。現在、山手公園入口に立つヒマラヤスギは、横浜市の名木古木に指定されている。このヒマラヤスギ、

実は松の一種で、初夏には枝先に卵のような黄緑色の球果をつける。晩秋から冬にかけて茶色く熟すと、球果の鱗片の隙間にある種が風で飛ばされ、鱗片が落ちて先端が残った状態で落下する。それが、シダーローズと呼ばれる松ぼっくりだ。バラに似た形で、特にクリスマスの時期にリースやアレンジメントでも多用されるので、ご存知の方も多いのではないだろうか?シダーローズが拾えるのは11月末~1月末ごろ。今年の冬、拾いに行ってみてはいかがだろうか。



写真に収まらないほどの大きさ



きれいな黄緑色の球果 先端がバラのように

◆山手公園 横浜市中区山手町230 ☎045(641)1971

ふらっと 2軒目 横浜純喫茶

『純喫茶モネ』

JR戸塚駅東口のコンコースに出て左側、まもなく創業60年を迎える老舗「純喫茶モネ」がある。その歴史は床屋から始まり、ずっと戸塚の街を見つめてきた。先代を継いだ息子の片山大蔵さんは店を任されて30年。10年前、店舗の改装時に自家焙煎機を入れた。「豆は焼いてから1か月が賞味期限」と鮮度にこだわる。挽いた豆に熱湯を注げば、香ばしい香りと共にムクムクと泡が膨れ上がる。まるで生きているようだ。マイルドな苦みとココのある味わいは何杯でも飲める感じ。「虜になる人、続出す」と片山さんは笑う。



▲オーナー片山さんはエフエム戸塚「大ちゃん歌さんの人生楽しみま翔」のパーソナリティーも務める

「喫茶店は社交場。コミュニケーションが生まれる場であり、社会のルールやマナーを教わる場でもある」と片山さん。カウンターでは自然と周りの人との会話も生まれる。会話のきっかけを提供する片山さんは「街を見守るのが駅前にある店の役割」と、街のために様々な活動をするいわば「戸塚の顔」だ。

モネのコーヒーに魅せられた人や、ふらっと気を休めに来た人のために、今日も心を込めて1杯を淹れる。



▲店頭では焼き立ての豆を販売。豆を求めるお客様が絶えない

◀「グアデマラ」(480円)。市販豆で淹れたコーヒー(小)と飲み比べさせてくれた。味の差は歴然!確かに中毒性あり

▶「昔ながらのナポリタン」(540円)はラー油をかけて食べるのがおすすめ。「おいしいものにつかブランド」にも認定されている。コーヒーとセットで810円

◆戸塚区戸塚町10ラビス1-2F
◆7時~20時(カウンターは10時30分~)、水曜休
◆☎045(864)6834

せせらぎ田んぼ体験

~大井町の自然に触れながら、おいしいお米作りに挑戦~

大井町の自然豊かな田園地帯や酒匂川沿など美しい風景を満喫しながら、大人も子どもも一緒に楽しめる田んぼ体験をしよう。

春に田植えをして、秋に稲刈りをするというイベント。秋には1人1.5kgの新米を持ち帰ることができる。普段なかなか体験できない田植えや稲刈り。

家族みんなで参加しよう!

◆田植え5月18日(土)9時30分~12時※小雨決行・荒天の場合は19日(日) / 稲刈り9月14日(土)※小雨決行・荒天の場合は16日(月・祝) ◆ひょうたん池集合(大井町第二浄水場付近)小田急線「開成」駅から徒歩15分 大井町金手639-1付近 ◆参加費1人1,500円(春・秋 保険代含む)※補助で田んぼに入る場合も参加費がかかります ◆昼食は持参 ◆秋に新米1.5kgプレゼント ◆田んぼ体験定員50名(先着順・小学生以上)※春と秋に参加できる方(親子での参加大歓迎) ◆申込み4月26日まで ☎0465(85)5013 大井町地域振興課 平日8時30分~17時15分、またはあそびい横浜で検索



詳細は **asobii** -yokohama- をご覧ください

医療に興味を持つ中学生が医療現場を体験!
第4回湘南鎌倉人工関節センター・ドクター体験セミナー

3月25日、公募で集まった中学生9人が医療の現場を体験、一次救命措置の実習や、模擬骨を使って人工関節の置き換え手術などを行った。旭区から参加した富永遥さん(14)は「将来、医療系の仕事に就きたいので今から学んでおきたい」と熱心に受講していた。玉木康信医長は「このセミナーをきっかけに、医療の仕事が選択肢の一つになってくれたらうれしい」と話していた。

◆問合せ ☎0467(47)2377 湘南鎌倉人工関節センター



「股関節痛」でお困りの方へ
湘南鎌倉人工関節センター
人工股関節に特化したセンターです

入院期間:平均5~7日間
専門スタッフによる医療体制で「歩ける喜び」をあなたに。
公開医学講座&施設見学会 **参加無料**



医師 落合 俊輔
治療に対する疑問や不安にお答え出来るように心掛けています。

医学講座&施設見学会 **要予約**
4月11日(木) 14:30~16:30 | 4月25日(木) 14:30~16:30
講師:整形外科 玉木康信 医長 定員:25名 | 講師:整形外科 齋藤 彰 部長 定員:25名
当センター内 3階 ラーニングセンター (JR大船駅より送迎車あり(約5分)・駐車場あり)

SKJRC
湘南鎌倉人工関節センター

初診予約
☎0467(47)8400
医学講座申込&施設見学会
☎0467(47)2377

〒247-0061 鎌倉市台5-4-17
JR大船駅より無料送迎車あり
※満席の場合はタクシーをご利用ください

湘南鎌倉人工関節センター **検索**

成長期のお子さんの足は骨も筋肉も発達期

だからこそ重要な **靴** 選び

「近年、お子さんと一緒に来店されるお客様が増えています。お子さんの足に合った靴を履かせたい人が東京からも来店されます」と語るのは、神奈川県唯一のマスターシューフィッター*の資格を持つ宮崎重行さん。

宮崎さんは神奈川県や藤沢市、幼稚園などで「足と靴」についての講演をし、靴の大切さを知ってもらうことに力を入れている。「子どもはすぐ大きくなるからと大きめの靴ばかり履かせていると、膝や腰に負担をかけ、筋肉の付き方や骨の成長にも影響を及ぼします。歩き始めた時からフィットした靴を履かせることが大切です」。

足を測ることで足長だけでなく、足幅、形など足の特徴を知ることが大切です。「靴を買う前に、しっかり足のサイズを測ってから買うことをおすすめします。履いている靴が足に合っているか気になる方、気軽にご相談ください。」



靴選びについての詳細は **asobii** -yokohama- をご覧ください

お子さんの靴にお悩みの方ぜひご相談ください
■お問合せ **靴のみやざき**
〒252-0801 藤沢市長後672
営業時間 10:00~19:00 定休日:火曜日・水曜日
☎0466(44)0134 **靴のみやざき** **検索**

庭木1本からお手入れOK! **見積無料**



- お約束**
- 庭木1本より明瞭料金
 - 土日でもOKです
 - トイレはお借りしません
 - お茶はご遠慮します

●ヨコハマよみうりご覧の方へ●
生垣剪定幅1m(高さ2m)通常**2,000円**を
先着10名様 1,000円 (※税別)
1本からのお庭サービス
ガーデンエクステル
横浜北支店 都筑区茅ヶ崎東5-13-21
横浜湾岸支店 横須賀市衣笠栄町1-55
横浜南支店 戸塚区戸塚町2834
営業時間 9:00~17:00
年中無休 **☎045-532-3709**